

AsahiKASEI

株主通信

第132期上半期

2022.4.1-2022.9.30

証券コード 3407



旭化成株式会社

株主の皆さまへ **創業100周年。**

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

1922年の創業から、今年で100周年を迎えました。これまで当社を支えていただきました株主の皆さまやステークホルダーの皆さまに対し、心より御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染拡大で弱体化した世界経済は、中国ロックダウンによる景気減速やロシア・ウクライナ情勢等のさまざまな影響により、いっそう不透明感が増しております。

当社グループは、本年4月に3カ年の『中期経営計画2024～Be a Trailblazer～』をスタートさせました。当社グループが2030年に「ありたい姿」になるためのファーストステップと位置付け、「次の成長のための挑戦的な投資」と「構造転換や既存事業強化によるキャッシュの創出」の両輪をバランスよく進めていきます。また、スピード、アセットライト、高付加価値の3点を強く意識し、市場が大きく変化する中でチャンスを的確に捉え、成長を目指していきます。

なお、当社グループにおいて、火災・事故が立て続けに発生し、皆さまにご心配やご迷惑をおかけしたことにつきましては重く受け止め、引き続き原因究明と再発防止策の実行を徹底してまいります。

A-Spiritを呼び起こし、変化を恐れず大胆に道を切り拓く

上半期の業績と通期の見通しについて

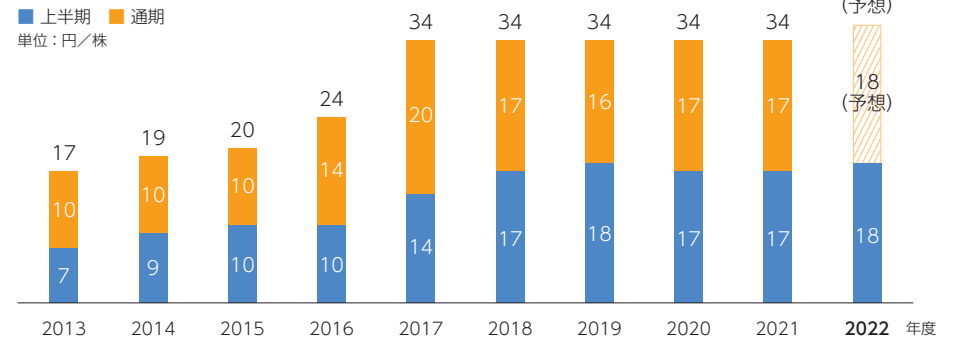
2022年度上半期の当社グループの連結業績は、売上高は為替の円安影響や「マテリアル」領域等における石化製品市況の高騰等により、上半期として過去最高の13,512億円で前年同期比1,702億円(14.4%)の増収。一方、営業利益は半導体不足の長期化や中国ロックダウン、ロシア・ウクライナ情勢等に加え、景気後退による需要減速や原燃料価格高騰等の経営環境の悪化を受けたため、858億円で前年同期比273億円(△24.2%)の減益となりました。なお、当上半期の中間配当につきましては、1株当たり18円とさせていただきます。

また、2022年度の通期の見通しは、「住宅」領域や、「ヘルスケア」領域において下期の挽回により増益を見込みますが、「マテリアル」領域のセパレータ事業や基盤マテリアル事業を中心に厳しい経営環境が下期も継続することにより、増収・減益となる見通しであり、売上高は2兆8,510億円、営業利益は1,770億円、経常利益は1,780億円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,290億円としております。今後もさまざまな環境変化を注視し、随時的確な経営判断を行ってまいります。

株主還元について

当社は、中期的なフリー・キャッシュ・フローの見通しから、株主還元の水準を判断し、配当による株主還元を基本としております。2022年度の配当につきましては、業績予想を踏まえ、1株当たり36円を予定しております。今後も、配当性向30～40%(現中期経営計画3年間の累計)を目安としながら、配当水準の安定的向上を図ります。また、自己株式の取得は資本構成適正化に加え、投資案件や株価の状況等を総合的に勘案して、検討・実施いたします。

配当の年度推移(1株当たり)



次の100年に向けて

当社グループは時代に合わせ、ダイナミックに事業ポートフォリオを絶えず変革することで成長を実現してきました。今後も「マテリアル」「住宅」「ヘルスケア」の各領域の成長を図るとともに、当社グループの人財・知財といった無形資産などの経営基盤を強化し、領域間のシナジーを追求していくことで、さらなる企業価値向上を目指していきます。

100年にわたり、先達が紡いできた当社グループのDNAを表現している「A-Spirit (アニマルスピリットと旭化成魂を合わせた精神)」を今こそ呼び起こし、グループ一丸となって新たな価値を創造してまいります。引き続き株主の皆さまのご支援、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2022年12月

代表取締役社長

工藤 幸四郎

特集 成長分野の事業拡大に向け、知的財産の戦略的活用を加速

旭化成グループは、『中期経営計画2024～Be a Trailblazer～』において「無形資産の最大活用」を掲げており、その中で知的財産を当社グループの重要な要素の一つとして位置付けています。本年4月には、経営企画担当役員直属の組織として、多様な社内外の無形資産を最大限活用し、戦略構築や新事業創出への貢献を目指す「知財インテリジェンス室」を新設しました。本特集では、本年7月にメディアやアナリストの皆さま向けに開催した当社グループ初の「知財戦略説明会」の一部をご紹介します。



説明会当日の様子

I 中期経営計画達成に向けた知財・無形資産の活用戦略

- ▶ 中期経営計画で掲げる“挑戦的な投資”と“キャッシュ創出”の両輪を回すことに貢献。スピード/アセットライト/高付加価値の視点で事業ポートフォリオ進化を加速させる手段として、知財・無形資産を活用。
- ▶ 「経営・事業方針にタイムリーに呼应」「多様な自社知財の価値最大化」「IPランドスケープ (IPL) を活用した自他社の無形資産の可視化」という知財・無形資産活用基本方針のもと、GG10(10のGrowth Gears: 次の成長を牽引する事業*)の成長を目指す戦略を構築・実行。特許価値の向上を図るとともに、2030年度にはGG10関連の有効特許件数の割合を50%超へ(2021年度時点: 30%超)。

* GG10(次の成長を牽引する10の事業): 水素関連、CO₂ケミストリー、蓄エネルギー、自動車内装材、デジタル関連ソリューション、北米・豪州住宅、環境配慮型住宅・建材、クリティカルケア、グローバルスペシャリティファーマ、バイオプロセス

知財・無形資産活用基本方針



GG10の加速に向けた知財・無形資産活用戦略例

- ▶ GG10において知的財産を活用した事例

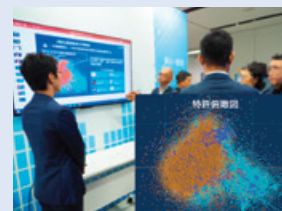
1) 水素関連事業

公開情報から水素ビジネス全体を俯瞰。IPLによりパートナー探索や、競合戦略のベンチマークを行い、無形資産を活用したビジネス戦略を構築。



2) 自動車関連事業

当社と自動車メーカー(OEM)の技術の関係をIPLにより可視化。OEMとのビジネスコミュニケーションを活性化。



3) 環境配慮型住宅事業

ZEH-M*賃貸住宅の普及に向け、エネルギーマネジメント・電力売買の領域において網羅的な特許網を構築し、事業保護・拡大を目指す。



* ZEH-M(ゼッチ マンション): 戸建住宅におけるZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の集合住宅版

4) グローバルスペシャリティファーマ関連事業

旭化成ファーマが開発を手掛けた慢性疼痛薬に関し、イーライリリー社に独占的実施権を与えるライセンス契約を締結。旭化成ファーマは同社との共創により、開発スピードの加速に加え、商業化後の日本等での販売権とグローバルでの販売ロイヤルティ受領権の確保によりマネタイズを実現。

トピックス

トピックス **1 次世代コンセプトカー「AKXY (アクシー) 2」を制作**

当社は、本年5月に自動車関連事業の総合的なマーケティングアプローチの一環として、コンセプトカー「AKXY2」を制作しました。

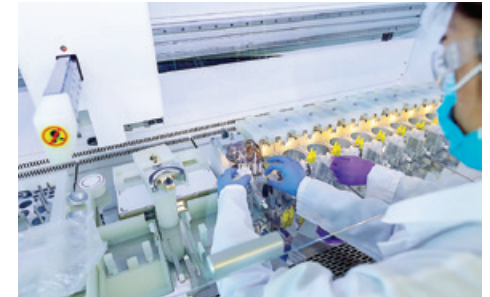
「AKXY2」は本年5月に日本で開催された「人とくるまのテクノロジー展 2022」や同年10月にドイツで開催された国際プラスチック・ゴム産業展「K 2022」にて展示されました。

当社はこれまでコンセプトカーとして、2017年に「AKXY」、2019年に「AKXY POD」を発表してきました。「AKXY2」は『3つのS』、Sustainability (持続可能なクルマづくり)、Satisfaction (クルマの満足度向上)、Society (社会とクルマのつながり) をコンセプトに掲げ、これまでの「AKXY」シリーズとは異なるアプローチで制作しました。

トピックス **2 次世代抗体医薬品CDMOの米国Bionova Scientific社買収**

旭化成メディカルは、本年5月にバイオ医薬品の製造プロセス開発受託、抗体医薬品GMP製造*1受託を行うBionova Scientific社を買収しました。

これにより、同社はバイオプロセス製品事業、装置事業およびバイオセーフティ試験受託サービス事業に加え、製造プロセス開発に強みを持つバイオ医薬品CDMO**2事業を獲得することになります。同社の持つノウハウを活かすことで、新薬開発・製造プロセスにおいて次世代抗体医薬品顧客を含む、より幅広い顧客層に多くのサービスを提供することを目指します。



※1 **GMP製造**：Good Manufacturing Practiceの略。医薬品製造業者が遵守すべき製造に関する厳格な基準に準拠した医薬品製造。

※2 **CDMO**：Contract Development and Manufacturing Organizationの略。製薬会社に代わり、医薬品の製造プロセス開発や製造そのものを受託すること。

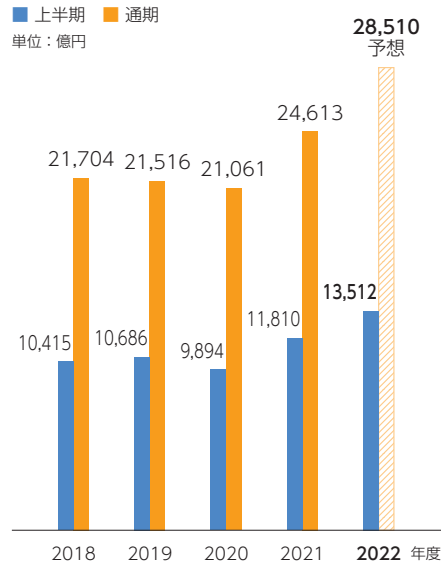
トピックス **3 新躯体 重鉄制震・デュアルテックラーメン構造を開発「HEBEL HAUS RATIUS | RD」を発売**

旭化成ホームズは、2階建て邸宅を想定した新躯体「重鉄制震・デュアルテックラーメン構造」を開発し、この新躯体によるコンセプトモデルとして、創業50周年記念商品「HEBEL HAUS RATIUS | RD (ラティウス アールディー)」の販売を本年4月より開始しました。引き続き、人びとの「いのち・くらし・人生」全般を支えるLONGLIFEな商品・サービスの提供を追求していきます。

連結業績ハイライト

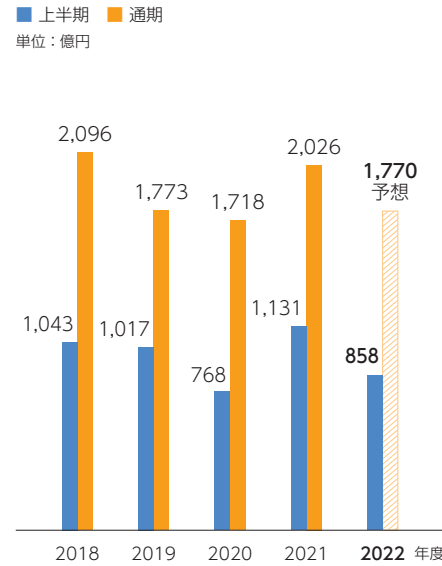
売上高

13,512 億円



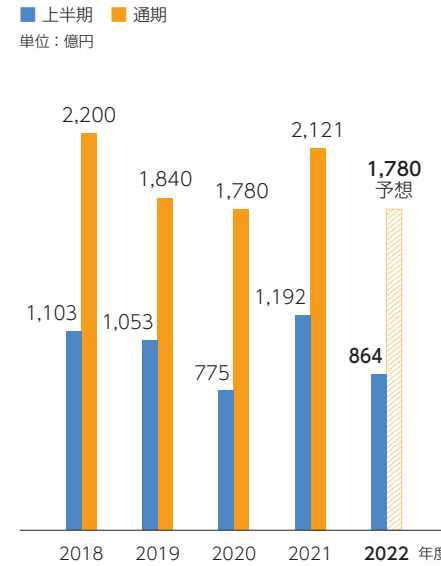
営業利益

858 億円



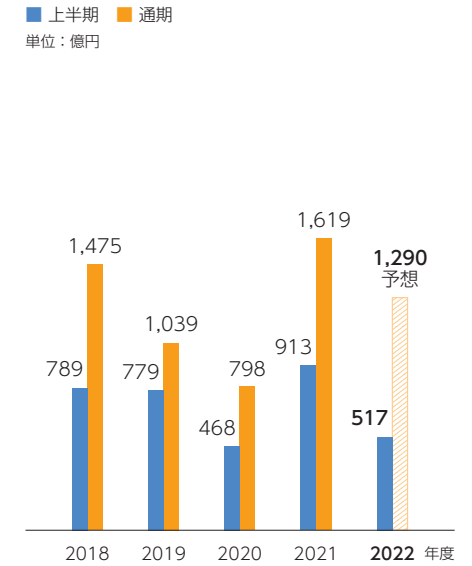
経常利益

864 億円



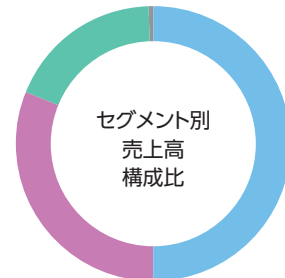
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

517 億円



セグメント別業績

- マテリアル 50.2%
- 住宅 31.1%
- ヘルスケア 18.2%
- その他 0.5%



売上高

13,512 億円



営業利益

858 億円



■ 消去又は全社△160億円

会社情報 (2022年9月30日現在)

商号	旭化成株式会社 (Asahi Kasei Corporation)
創業年月日	1922年5月25日
設立年月日	1931年5月21日
資本金	103,388,521,767円
連結対象子会社	279社
持分法適用会社	44社
発行可能株式総数	4,000,000,000株
発行済株式の総数	1,393,932,032株
株主数	177,997名

役員 (2022年9月30日現在)

代表取締役 取締役会長	小堀 秀毅	常勤監査役	中尾 正文
代表取締役 取締役社長 社長執行役員	工藤 幸四郎	常勤監査役	柴田 豊
取締役 専務執行役員	坂本 修一	社外監査役	伊藤 鉄男
取締役 専務執行役員	川畑 文俊	社外監査役	望月 明美
取締役 専務執行役員	久世 和資	社外監査役	浦田 晴之
取締役 常務執行役員	堀江 俊保		
社外取締役	立岡 恒良		
社外取締役	岡本 毅		
社外取締役	前田 裕子		

株式メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告方法	電子公告 https://www.asahi-kasei.com/jp/ir/stock_information/koukoku/
株主名簿管理人・ 特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 (連絡先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 ☎ 0120-782-031 (平日9時~17時)

配当金について

ゆうちょ銀行領収証方式の取扱期限

第132期中間配当金について、配当金領収証方式にて配当金をお受取りの株主さまは、2023年1月13日(金)までにゆうちょ銀行・郵便局にてお受取りください。

除斥期間

配当金は、支払開始の日から満3年を経過しますと、定款の規定によりお支払いできなくなりますので、お早めにお受取りください。

未受領の配当金

支払開始の日から満3年を経過していない未受領の配当金は、三井住友信託銀行よりお支払いいたしますので、三井住友信託銀行にお問合せください。

口座振込でのお受取り

配当金のお受取りにあたっては、安全・確実な口座振込のご利用をお奨めいたします。

株主総会資料の電子提供制度が始まります

会社法の改正により、2023年3月以降に開催される株主総会では、これまで郵送していた株主総会資料(招集ご通知)のご提供が、原則としてウェブサイトのみとなります。株主の皆さまにおかれましては、会社から書面通知にてご案内するウェブサイトへアクセスすることで、株主総会資料をご確認いただけます。当社では来年6月下旬開催予定の定時株主総会から運用開始の予定です。

ただし、インターネットのご利用が困難な株主様のために、株主総会書類を書面で受領するためのお手続きがございますので、本ページ下段の案内をご参照のうえお手続きをしてください。



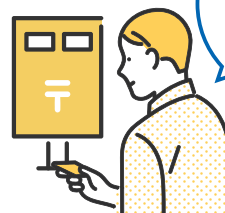
株主総会資料を書面で受領されたい 株主様のお手続き

やっぱり
紙で欲しい!!!



お取引証券会社または三井住友信託銀行(下記窓口)に対して、株主総会の基準日までに(6月下旬開催予定の定時株主総会の場合には3月末までに)、書面での株主総会資料の受領を希望される旨をお申し出てお手続きを完了してください。

3月末までに
手続き完了!



【本件に関するお問い合わせ先】

三井住友信託銀行 証券代行部

 0120-533-600

受付時間 9:00~17:00(土・日・休日を除く)ぜひQ&Aもご利用ください。

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>



旭化成株式会社

〒100-0006 東京都千代田区有楽町一丁目1番2号
<https://www.asahi-kasei.com/jp/>

